

# 既設鋼構造物の性能評価のための解析技術と インターフェースストラクチャのモデル化



行事コード 東京会場 25906 略称 東京鋼構造合同講習会  
行事コード 大阪会場 259061 略称 大阪鋼構造合同講習会

既設鋼構造物の現状と補修・補強後の性能評価は、劣化損傷状況と補修・補強後の状態の正確な把握、これらを基にした境界条件、荷重条件、変位・変形などの状況の合理的な再現にかかっています。ところで、鋼構造物は非常に多くの材料・材片を接合して作られるもので、多くの接合部、すなわちインターフェースストラクチャを内在します。解析の目的・範囲によって、インターフェースの一体化を前提とできない場合は、接触や摩擦など、モデル化する必要がある現象を選択し、それを適切にモデル化する必要があります。

そこで、鋼構造委員会では、「既設鋼構造物の性能評価と回復のための構造解析技術に関する小委員会」と「鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究小委員会」を発足し、既設鋼構造物の評価に対する構造解析の適用の枠組み、方法、劣化損傷の生じた構造の状態把握のための実測値を利用した解析モデル作成技術および新しい解析技術調査と性能評価への適用のための目安の作成、及び、国内外においてインターフェースストラクチャがどのようにモデル化・解析され、どのような結果・知見が得られたかについて文献調査を行ってきました。本講習会では、当該委員会による調査・議論を通じた活動の成果をご説明します。

- 主催：土木学会（鋼構造委員会 既設鋼構造物の性能評価と回復のための構造解析技術に関する小委員会・鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究小委員会 合同）
- 日時：【東京】令和元年10月11日（金）10:50～17:00（受付10:20～16:00）  
【大阪】令和元年10月30日（水）10:50～17:00（受付10:20～16:00）
- 場所：【東京】土木学会講堂（東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内）  
【大阪】大阪市立大学文化交流センター（大阪市北区梅田1-2-2-600）
- 定員：【両会場とも】100名（申込先着）
- CPD単位：4.8単位（【東京】JSCE19-0892 【大阪】JSCE19-0893）
- 参加費：8,000円（会員）、10,000円（非会員）、5,000円（学生）  
以下テキスト含む  
「鋼構造シリーズ32 既設鋼構造物の性能評価と回復のための構造解析技術」（会場配布）  
「鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究報告書」  
(WEB 事前配布先: <http://committees.jsce.or.jp/steel/node/132>)
- 参加申し込み期限：【東京】令和元年9月27日（金）  
【大阪】令和元年10月16日（水）

- 申し込み方法：

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内 (<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX (03-3355-5278) でお申し込み下さい。申达到着後、開催日1週間前までに折返し「参加券」をお送りいたします。土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

(1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。

(2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。

(3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問合先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。

(4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

- 問い合わせ先：

土木学会研究事業課 尾崎 TEL0333553559 MAIL [fumiharu-ozaki@jsce.or.jp](mailto:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp) (at を@に変更して下さい)

- プログラム

- 10:50～11:00 講習会概要 岩崎英治（既設鋼構造物の性能評価と回復のための構造解析技術に関する小委員会委員長）
- 11:00～11:30 鋼コンクリート合成構造のモデル化 木下幸治（岐阜大学）
- 11:30～12:00 非合成桁のモデル化 齊木 功（東北大学）
- 12:00～13:00 昼食休憩
- 13:00～13:30 高力ボルト継手のモデル化 田村 洋（横浜国立大学）
- 13:30～14:00 支承・落橋防止構造のモデル化 荒川淳平（横河ブリッジホールディングス）
- 14:00～14:30 維持管理上の性能評価技術の現状 谷口 望（前橋工科大学）
- 14:30～15:00 性能評価のための有限要素解析技術 小室雅人（室蘭工業大学）
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:00 損傷した部材の性能評価 山沢哲也（鹿島建設）
- 16:00～16:50 全体構造系の性能評価 山沢哲也（鹿島建設）
- 16:50～17:00 講習会総括 齊木 功（鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究小委員会委員長）